

令和元年度市民事業現場訪問(第 75 回市民事業専門委員会) 報告書

- 1 件名 令和元年度 市民事業現場訪問(第 75 回市民事業専門委員会)
- 2 日時 令和元年 10 月 24 日 (木曜日) 9 時 15 分から 15 時 15 分
- 3 目的 補助事業団体の活動現場を視察することで現場の声を聴き、団体が抱えている課題や財政面以外の支援方法のヒントを得る。
- 4 訪問先 ① 足柄丹沢の郷ネットワーク 活動現場の訪問 (山北町玄倉)
② ファームパーク湘南 活動現場の訪問 (伊勢原市三ノ宮)
- 5 当日の出席者 増田委員長、青砥委員、石本委員、稲垣委員

6 概要

- (1) 足柄丹沢の郷ネットワーク (間伐材の利活用促進事業・資機材の購入/定着支援 補助額 555 千円)

対応者：福島氏

山北町玄倉の旧丹沢湖ビジターセンター裏の活動現場を訪問。活動内容の聞き取り、間伐で切り倒した木の玉切および運搬様子の見学を行った。



【聴取内容】

- ・ 約 50 年前に植林された人工スギ林 1.7ha が活動現場
- ・ 8 年前から活動しており、約 30% 間伐した。
- ・ 間伐したスギは、薪として利用している。70cm くらいの丸太 1 本から薪 2~3 束をつくり、1 束 300 円で周辺のキャンプ場に販売している。
- ・ 1 回 9~10 名の鹿島山北高校の生徒が間伐材の搬出作業を体験している。
- ・ 椅子やスプーン作りなど年 3 回ほど木工の活動を行っており、参加者は 3 回で 20 人程度
- ・ 箒沢の共有林でも、風倒木や枯損木の処理をしているが、山林所有者の中に所在不明の人もいて全員の合意が取れず、本格的な切り出しができない。
- ・ 周辺の集落にある、折れてしまいそうな危険な樹木の伐採をしたいが、高所伐採の技術をもっていないので、講習を受けたい。

【委員所感の集約】

- ・ 見学したスギ林の手入れは刈藪調で、水源林整備としての目的を果たしており、団体の活動成果がよく現れている。
- ・ 間伐している 1.7ha は、比較的低い下草が十分に生え、良い状態に見えた。
- ・ 70 cmに切った丸太は背負子で担ぎ降ろすそうだが、かなりの重量に感じた。今回は林内の伐採現場だったが、木工作業の様子、作品なども見てみたいところである。
- ・ 申請書では「暮らしのものづくり」での活用を図ることが書かれているが、グリーンウッドワークだけに限らず、この方向での発展に期待したい。
- ・ 労働安全衛生面からは、安全帽、切創防止用保護衣の着用がなされるとともに、特別教育補講の受講も行われていたので問題はなかった。
- ・ 補助金の選考会で「木工」に関する項目が話題となっていたので、今回調査もその視点が含まれた内容であれば、より有効だったのではと考える。
- ・ 森の中での説明も現場作業を見られるというメリットはあるが、植林や樹齢、間伐した材の重さ、搬出等の話に重点が置かれて、課題等の質問に至らなかった。現場訪問ではあるが、現場を見た後に意見交換するような場所が必要である。

(2) ファームパーク湘南 (間伐材の利活用促進事業/定着支援 補助額 200 千円)

対応者：大場理事長ほか

伊勢原市三ノ宮 比々多神社近隣地の活動現場を訪問。活動地の見学および活動内容の聞き取り後、小屋で質疑応答を行った。



【聴取内容】

- ・ 活動地はクヌギやカエデなど広葉樹の植栽地とマダケの竹林に分かれており、植栽地にマダケの侵入がある。植栽木保護のために竹の伐採を行っている。
- ・ 植林は7～8年前にケヤキを伐採して、クヌギやカエデなどを植林した。
- ・ 切り出した竹を竹チップにして、堆肥化を試みている。発酵がうまくいかず難航しているが、牛糞を入れるなどの解決方法を模索している。
- ・ 竹細工の販売も行っているが、資金化は難しい。
- ・ 竹炭も検討しているが、周囲に民家があるため作成は難しい。
- ・ 現在の活動資金は、ホームファーマー事業の受託や市民農園の管理等が主である。

【委員所感の集約】

- 竹伐採後、広葉樹林化する方向性は水源林整備の目的にかなっていると思うが、現状の実施面積・樹木数は少ない印象を受けた。
- この活動場所において竹林整備の必要性はよく理解できた。
- 最初はホームファーマーの活動から入ってきたとのことで、全体に緑に親しむこと自体を楽しんでいる雰囲気がある。
- 竹の有効活用、商品化はかなりハードルが高そうだ。「タケノコ狩りとセットにして人を集めたらどうか」という質問に対しては興味を示していた。提供できるタケノコの数はいさほど多くないかもしれないが、無料でタケノコを味わえる機会となれば、参加者も集まるのではないかと思う。
- 財政基盤がしっかりとしているためか、余裕をもって事業に取り組んでいるように見受けられた。
- 竹の堆肥化が実現できれば、市民菜園運営に携わっていることから販路の確保と収入が大いに見込めるので、成功に期待したい。
- 作業をしている間は「しずくちゃんの幟旗」を掲げて欲しい。近くには有名な比々多神社もあり、神社を訪れた人の目に留まり、「何をしているんだろう」と興味を持つ人が、声をかけてくれたらと想像するだけでも楽しいと思う。
- 周辺を見渡して、自分たちの活動と何がどう繋がるかも視野に入れて、HPに自分たちの活動だけではなく、近隣の情報も掲載すれば団体の活動をさらに PR できるのではないかと思う。